

開設科目名	科目：住環境計画学										担当教員：瀬渡章子							
開 講 期	後期			授業方法：講 義				単位数：2単位				週時間：2時間						
対 象 学 生	3回生			科目番号：064172														
授業の概要	主として集合住宅の共同性および協働性の観点から、集合住宅計画のあり方を考えていく。女性の社会進出、少子化、高齢化等によって家族は大きく変化しつつあるが、こうした住み手の変化にどのように応えていけばよいのか。とくに単身世帯、共働き世帯、子どものいる世帯の居住ニーズに注目し、必要とされる共用空間、共用施設、地域施設、生活サービスをとりあげる。また、近年の家族や地域の変化を背景に増加してきた居住者参加型の集住環境づくりや、地球環境に配慮した住宅の供給方式をとりあげる。																	
学 習 ・ 教 育 目 標	・ 近年の家族やライフスタイルの変化による居住ニーズの変容を理解する。 ・ 居住ニーズの変化がもたらす集合住宅の変化の諸相を理解する。 ・ 「お仕着せ」の住まいから個々の居住者のニーズに適合した住まいづくりのあり方を考え、理解する。 ・ 建物の耐久性や地球環境問題を踏まえた住宅の供給方式や住宅ストックの再生手法を理解する。																	
	対 応 表	A			B		C			D			E		F			
		A-1	A-2	A-3	B-1	B-2	C-1	C-2	C-3	C-4	D-1	D-2	D-3	E-1	E-2	F-1	F-2	F-3
キーワード	集合住宅、住要求の多様化、住宅供給方式、コーポラティブハウス、コレクティブハウス、共同施設、環境共生、ストック再生、景観形成																	
授 業 計 画	第1回 住要求の多様性の諸相と住環境計画の課題 第2回 住戸計画の多様化 第3回 集合住宅の新しい供給方式① 第4回 集合住宅の新しい供給方式② 第5回 住み手参加の住まいづくりーコーポラティブハウス① 第6回 住み手参加の住まいづくりーコーポラティブハウス② 第7回 協同性の高い住まいーコレクティブハウス①北欧編 第8回 協同性の高い住まいーコレクティブハウス②日本編 第9回 集合住宅の共同施設・サービス① 第10回 集合住宅の共同施設・サービス② 第11回 集合住宅のストックを再生する① 第12回 集合住宅のストックを再生する② 第13回 集合住宅で街並みをつくる① 第14回 集合住宅で街並みをつくる② 第15回 試験																	
教 科 書	『事例で読む現代集合住宅のデザイン』（彰国社）。必要に応じてプリントを配付する。																	
参 考 書	授業において説明する。																	
成 績 評 価 方 法	期末に試験を実施するとともに、授業内ミニレポートも評価の対象とし、総合的に評価を行う。																	
評価割合	定 期 試 験 (中間・ 期末試験)	小テスト・ 授 業 内 レ ポ ー ト		宿題・授業 外レポート		授業態度・ 授 業 へ の 参 加 度		受 講 者 の 表 発 (プレゼン)		出 席						合 計		
	80%	20%		%		%		%		%		%		%		100%		
備 考	A～Fは住環境学科（専攻）の学習・教育目標である。具体的内容については住環境学科のホームページを参照のこと。 E棟507室 seto@cc.nara-wu.ac.jp、オフィスアワー（火）16：30～18：30																	